【4H3A407】口腔健康支援法	歯科衛生学科		3年前期	
	1単位	必修	実習	45時間

教員	松川　千夏		
資格・制限等	特になし		
実務家教員	歯科医院・保健センター他、歯科衛生士：20年		
授業方法	歯科衛生過程を理解するために、症例を用いて個人演習・グループワークを行います。		
到達目標	知識・理解	・歯科衛生過程の考えと構成が理解できる。 ・歯科衛生過程の流れを理論的に説明できる（◎）	◎
	思考・判断・表現	・演習を通してアセスメント、歯科衛生診断、計画立案、実施、評価までを検討することができる（◎）	◎
	関心・意欲・態度	・自ら問題点を解決する意欲を持ち、積極的に取り組める（△）	△
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

授業内容	歯科衛生業務を展開するためには、対象者の身近な問題や抱える問題を見つけ出し、エビデンスに基づいて解決する能力が必要です。理論的思考ツールである歯科衛生過程を活用して患者個々のニーズに合わせたケアを提供する力を養います。

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
定期試験	60	-	-	-	60
演習	-	20	-	-	20
課題	-	10	-	-	10
受講態度	-	-	-	10	10
合　計(点)	60	30	-	10	100

評価の特記事項	受講態度は学修の取り組み、課題提出状況等とします。フィードバックとして、課題にコメントし返却します。
ＩＣＴ活用	学生ポータルやGoogle classroomで質問等に対応します。
課題に対するフィードバック	課題のコメントは講義内で行います。
テキスト	『よくわかる歯科衛生過程』医歯薬出版(3,520円)ISBN:978-4-263-42205-2 『最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論』医歯薬出版(8,360円)ISBN:978-4-263-42863-4
参考書・教材	必要な資料は配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	情報収集 ： 1年生との合同実習① 症例(1)
2	情報収集 ： 1年生との合同実習② 症例(1)
3	歯科衛生過程とは 授業ガイダンス 歯科衛生過程の考え方とその意義を理解する 歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデルの概要を理解する ［課題（復習）］歯科衛生過程の概要をまとめる（2h）
4	歯科衛生過程の流れの理解 アセスメントの構成要素と流れを理解する ［課題（復習）］歯科衛生過程の概要をまとめる（2h）
5	歯科衛生アセスメント：症例(1) 情報収集（Sデータ・Oデータの抽出） 情報処理（歯科衛生アセスメントシートの作成）
6	歯科衛生診断：症例(1) 情報の統合 歯科衛生診断（歯科衛生診断文・プロブレムリストの作成） ［課題（復習）］歯科衛生診断文・プロブレムリストの完成（2h）
7	歯科衛生計画立案：症例(1) 目標の設定・計画の立案 症例(1)のまとめ ［課題（復習）］歯科衛生計画シートの完成（2h）
8	歯科衛生アセスメント：症例(2) 情報収集（Sデータ・Oデータの抽出） 情報処理（歯科衛生アセスメントシートの作成）
9	歯科衛生診断：症例(2) 情報の統合 歯科衛生診断（歯科衛生診断文・プロブレムリストの作成） ［課題（復習）］歯科衛生診断文・プロブレムリストの完成（2h）
10	歯科衛生計画立案・歯科衛生介入：症例(2) 歯科衛生計画立案（目標の設定・計画の立案） 歯科衛生介入（歯科衛生介入記録の作成） ［課題（復習）］歯科衛生介入記録の完成（2h）
11	歯科衛生過程まとめ 1 歯科衛生過程（アセスメント、歯科衛生診断、計画立案）の一連の流れを演習を通して確認する
12	歯科衛生過程まとめ 2 歯科衛生過程（アセスメント、歯科衛生診断、計画立案）の一連の流れを理解する

時間外での学修	毎回の授業が歯科衛生過程の一連の流れに沿って進んでいくため、次回の授業に未解決な内容が残らないように復習をしておいてください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：12時間】
受講学生へのメッセージ	歯科衛生士として、計画的で論理的なケア過程を実践できるよう、これまで学んできた知識を活用して積極的に授業に取り組んでください。 オフィスアワーは研究室で木曜日の5限です。

【4H4A407】地域歯科保健活動Ⅱ	歯科衛生学科		3年前期	
	1単位	必修	実習	45時間

教員	川畠　智子・松川　千夏・大谷　悦世		
資格・制限等	特になし		
実務家教員	川畠智子：歯科医院歯科衛生士6年　松川千夏：歯科医院・保健センター他歯科衛生士20年　大谷悦世：歯科医院・介護施設他、歯科衛生士13年		
授業方法	実習とグループワークが中心となります。グループワークでは、ブレーンストーミングやKJ法などを用いて学生同士で積極的に意見交換をしながら、コミュニケーション力を高めます。小学生に対する健康教育のための準備をします。		
到達目標	知識・理解	1.小学生に対する健康教育の目標・計画について説明できる 2.健康教育の場の特徴や対象者について説明できる 3.健康教育の進め方、方法について説明できる 4.地域歯科保健活動のフィールドについて説明できる 5.災害時の歯科保健活動について説明できる	◎
	思考・判断・表現	1.他の学生の発表について評価ができる 2.ブレーンストーミングやKJ法を用いてグループワークができる	○
	技能	1.小集団を対象とした話法などを工夫することができる	△
	関心・意欲・態度	1.グループ演習や実習(現場)に対して能動的に取り組むことができる 2.医療人としての自己管理や受講態度への配慮ができる 3.授業参加のために準備学修や課題を積極的に行うことができる	△
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。	

授業内容	この授業では、地域歯科保健活動における歯科衛生士の役割を理解し、多職種と連携することができるようにするための学修をします。さらに、地域包括ケアシステムの考え方をもとに、地域住民の健康の保持増進のために必要な知識・技術を修得を目指します。特に、地域歯科保健活動Ⅰで学習した内容を地域の小学校において実際に歯科健康教育を実施するために学びを深めていきます。

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
筆記試験	60	-	-	-	60
実技試験(発表)	-	-	10	-	10
自己評価・他者評価	-	10	-	-	10
グループワーク	-	10	-	-	10
受講態度	-	-	-	10	10
合　計(点)	60	20	10	10	100

評価の特記事項	提出する課題はすべてペン書きで清書してください。課題は提出期限を遅れた場合でも受け付けますが遅れた日数により減点があります。また他の受講生のレポートを写すなどの不正行為があった場合、評価は0点となるため注意してください。 演習参加度は、小学校実習に向けての原稿・媒体作製についての内容とその際の演習への参加度について評価します。 受講態度は学修への取り組み、課題提出、身だしなみ、忘れ物等などの状況を評価します。
ＩＣＴ活用	学生ポータルやグーグルクラスルームで質問等に対応します。
課題に対するフィードバック	授業時間外課題は、次回の授業で担当教員がグループ全員に進捗状況を確認し指導していきます。
テキスト	『最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論(第2版)』医歯薬出版株式会社(9,020円)ISBN:978-4-263-42863-4 『最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会のしくみ1 保健生態学(第3版)』医歯薬出版株式会社(6,160円)ISBN:978-4-263-42862-7
参考書・教材	『新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論』、『最新歯科衛生士教本保健生態学第3版』医歯薬出版は、既に購入済。授業で使用するテキスト等は、掲示で確認してください。また、必要に応じプリントを配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	地域歯科健康教育演習① 　地域歯科保健活動における歯科衛生士の役割と歯科健康教育を行う注意点について学修する。また、小学生を対象とする歯科健康教育の原稿と指導媒体が、対象に沿った内容であるかを教員と確認し、今後の計画を立案する。 [課題（復習）]地域歯科保健活動における歯科衛生士の役割を復習する(1h)
2	地域歯科健康教育演習② 小学生を対象とした歯科健康教育を行なう場合の注意点に留意して動画を作成する。担当教員のチェックを受ける。 [課題（復習）]次回に向けて、必要な媒体材料の収集と修正を行う(1h)
3	地域歯科健康教育演習③ 小学生を対象とした歯科健康教育を行なう場合の注意点に留意して動画を作成する。担当教員のチェックを受ける。 [課題（復習）]次回に向けて、必要な媒体材料の収集と修正を行う(1h)
4	地域歯科健康教育演習④ 小学生を対象とした歯科健康教育を行なう場合の注意点に留意して動画を作成する。担当教員のチェックを受ける。 [課題（復習）]次回に向けて、必要な媒体材料の収集と修正を行う(1h)
5	地域歯科健康教育演習⑤ 小学生を対象とした歯科健康教育を行なう場合の注意点に留意して動画を作成する。担当教員のチェックを受ける。 [課題（復習）]次回に向けて、必要な媒体材料の収集と修正を行う(1h)
6	地域歯科健康教育演習⑥ 小学生を対象とした歯科健康教育を行なう場合の注意点に留意して動画を仕上げる。担当教員のチェックを受ける。 [課題（復習）]担当教員からの指導項目と改善点を修正し、確認し最終回の発表に繋げる(1h)
7	地域歯科健康教育演習⑤ 作成した動画を発表する。各自が、自己評価・他者評価・グループの評価をする。 [課題（復習）]修正の必要がある場合にはそれを行う(1h)

内容	
実施回	授業内容・目標
8	地域歯科保健活動における健康教育① 健康教育とは何か、地域歯科保健活動における健康教育について学修する。 小学生を対象とした歯科健康教育に関する動画を提出する。
9	地域歯科保健活動における健康教育② 健康教育の対象と場の特徴、健康教育の進め方とその評価について学修する。
10	地域歯科保健活動における健康教育③ 地域歯科保健活動のフィールド(小学校・中学校・高等学校)について学修する。
11	地域歯科保健活動における健康教育④ 地域歯科保健活動のフィールド(事業所・保健所・保健センター)について学修する。 [課題（復習）]第1回から第11回までの復習をする(2h)
12	まとめ 第1回から第11回までのまとめと知識の確認を行う。(筆記試験)

時間外での学修	学内や地域での歯科保健活動を実践するため多職種との連携が必要となります。多職種についての知識を深めておきましょう。小学生に対する歯科健康教育のための準備をグループで時間外を活用し、健康教育のための媒体作製を行ってください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：9時間】
受講学生へのメッセージ	グループ活動が中心となるため、グループ内の協力が重要となります。授業には積極的に参加し、自らの知識・技術の向上を目指すことを期待しています。 オフィスアワーは、木曜日5時限です。

【4H5A208】審美歯科	歯科衛生学科		3年前期	
	1単位	選択	演習	30時間

教員	水嶋　広美		
資格・制限等	特になし		
実務家教員			
授業方法	講義にて知識や手技の要領を理解し、実習を中心に行っていきます。審美歯科専門医をゲストに実践的な実習も入れながら、ホワイトニングの技術、知識を身につけていきます。		
到達目標	知識・理解	1.審美歯科領域における、歯科衛生士の役割について述べる。 2.口腔筋機能療法の活用と効果を理解し、その訓練法を説明しながら実施する。 3.矯正歯科、インプラント治療における審美歯科としての役割ついて述べる。 4.ホワイトニングの種類とその適応、使用器材を説明する。 5.ホワイトニングの前準備からアフターケアまでの手順を理解し説明、実施する。	◎
	技能	ホームホワイトニングに使用する、カスタムトレーの制作方法に取り組むことができる。	○
	関心・意欲・態度	実習ごとに課題レポー作成に取り組むことで、審美歯科について関心を持ち、積極的学修に取り組むことができる。	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

授業内容	近年、口腔の美しさへの要望が高まり、歯科衛生士の臨床においても健康の回復・維持のみならず、審美性への配慮が強く求められている。この授業では、診療補助の精度の向上や、基本的な治療技術あるいは器材に関する知識などに焦点を向け、審美歯科領域における歯科衛生士の役割の重要性について学んでいく。

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
筆記試験	60	-	-	-	60
レポート課題	-	-	10	10	20
製作物	-	-	10	-	10
履修カルテ	-	-	-	10	10
合　計(点)	60	-	20	20	100

評価の特記事項	筆記試験、受講態度、課題レポート内容、提出状況もふくめて総合的に評価します。 欠席は減点とし、3分の１以上欠席した学生に単位を与えません。
ＩＣＴ活用	質問や要望については、メールでも受け付けます。
課題に対するフィードバック	授業時間外課題については、授業のなかでコメントします。
テキスト	『最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正 』医歯薬出版株式会社　※2年次に購入済(3,240円)ISBN:978-4-263-42825-2 『最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 』医歯薬出版株式会社　※2年次に購入済(3,240円)ISBN:978-4-263-42822-1 『最新　歯科衛生士教本　歯科機器』医歯薬出版株式会社　※2年次に購入済(3,240円)ISBN:978-4-263-42850-4 『最新　歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版』医歯薬出版株式会社　※１年次に購入済ISBN:978-4-263-42840-5 『最新　歯科衛生士教本　歯の硬組織・歯髄疾患　保存修復・歯内療法』医歯薬出版株式会社　※2年次に購入済(4,620円)ISBN:978-4-263-42820-7
参考書・教材	その他資料は適宜、配布します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	審美歯科領域における歯科衛生士の役割(矯正治療時の補助・介助　口腔筋機能療法の種類と方法) [課題（復習）]矯正器具の名称と用途・口腔筋機能療法について内容を復習してまとめる(2h)
2	ホワイトニングについて(ホワイトニングの種類と基礎知識について) 　ホワイトコート知識、手順を学び、実際に実習を行う。 [課題（復習）]ホワイコートの種類、手順、薬剤・器材の取り扱いを復習しまとめる(2h)
3	ホワイトニングに必要な作業用模型の作製(使用するトレーを作製するための模型作製の相互実習) [課題（復習）]ホワイトニングに必要な作業用模型の作製手順を復習してまとめる(2h)
4	ホワイトニングのメカニズム、手順、ホワイトニング後の評価と指導について学ぶ。（１回～３回の課題の確認) ホームホワイトニングについて(ホームホワイトニングの前準備と手順、マウストレー作製について実習) 矯正器具の取り扱いについて、実習を行う。 [課題（復習）]ホームホワイニング、矯正器具の使用方法について復習しまとめる(2h)
5	ホワイトニング実践（外部講師） 歯の色の測定法、オフィスホワイトニング・ホームオワイトニングの実践と使用器材とその手順について [課題（復習）]ホワイニングで実習内容を復習してまとめる(2h)
6	審美歯科領域におけるメインテナンスⅠ 審美性を維持・向上させるためのハイジニストワークの重要性について [課題（復習）]審美性を維持・向上させるためのハイジニストワークについて復習してまとめる(2h)
7	審美歯科領域におけるメインテナンスⅡ 審美歯科と歯科衛生士（知覚過敏の対処法、歯科矯正、インプラント、修復物と歯科衛生士の役割） [課題（復習）]審美歯科と歯科衛生士の役割について復習しまとめる(2h)
8	審美歯科まとめ（５回～７回の課題の確認） [課題（復習）]授業で学んだ全体の内容について総合的なまとめと復習する(2h)

時間外での学修	授業の各回での課題の内容を確実に学修しましょう。レポートについては、内容の不備、誤字脱字のないようしてください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：16時間】
受講学生へのメッセージ	外部講師の方の授業もあります。積極的な受講態度と授業のマナーを守った態度で受講してください。 オフィスアワーは、研究室(G306:G号館3F)で毎週木曜日の16：20から17：00です。

【4H6A402】臨床・臨地実習Ⅱ	歯科衛生学科		3年前期	
	7単位	必修	実習	315時間

教員	水嶋　広美・川畠　智子		
資格・制限等	未修得科目数による制限有り		
実務家教員			
授業方法	学外の各実習施設にて実習を行う。		
到達目標	知識・理解	地域の健康支援に関わる歯科衛生士の役割を述べ、専門的知識を修得する。	◎
	技能	症例に応じた器材を準備し歯科診療の介助を行い感染予防を実践し、対象に合わせた歯科保健指導を実施する。	◎
	関心・意欲・態度	1.医療人として日常の自己管理に心がけ、主体的な学びから職業的使命感をもつことができる。 2.毎月の臨床実習における学びと反省について自己評価を行い、担当教員に提出する。	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

授業内容	知識や技術を臨床の場で展開しつつあらゆる場面で応用できる能力が備わるように、各実習施設における実習を行う。さらに、実習施設によっては、他職種への理解を深め、歯科衛生士との関わりについても学ぶ。実習施設は、歯科医院、保健センター、小学校、高等学校、高齢者通所施設である。

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
実習日誌	30	-	-	-	30
各臨床実習施設の評価	-	-	50	-	50
受講態度	-	-	-	15	15
毎月の自己評価表提出率	-	-	-	5	5
合　計(点)	30	-	50	20	100

評価の特記事項	欠席・遅刻・早退は、減点し、補充を必ず課します。
ＩＣＴ活用	学生ポータル、Google Classroomで質問等に対応します。
課題に対するフィードバック	実習日誌・自己評価表の課題をAcademic Advisorに提出し、Academic Advisorからフィードバックを行います。
テキスト	実習日誌の作成には、1，2年生時に購入したテキストが必要になります。
参考書・教材	特にありません。

内容	
実施回	授業内容・目標
第1週～第2週 （月・火・水）	＜第1週～第15週＞ ・臨床実習ガイダンス・臨地実習ガイダンスを受ける。 実習施設は以下の通りである。 ・歯科医院における実習 ・保健センターにおける実習 ・小学校における実習 ・高等学校における実習 ・高齢者通所施設における実習 ・公衆衛生活動実習

時間外での学修	実習日誌の作成においては、専門用語を使用した内容で記述するようにします。常に教科書等で確認し、記述内容を知識として修得してください。毎月、学外実習に対する自己評価を自己評価表に記入し短大に提出します。自己の振り返りから、成長できるようにしましょう。手技・操作の未熟な点は、登校時に時間を有効活用し確実にしてください。また、保健センター実習や高齢者通所施設実習では、事前に他職種の業務について理解を深めておくようにします。
受講学生へのメッセージ	歯科医院実習では、必ず１週間の行動目標を立て、その目標達成のために努力を惜しまず、積極的に実習に臨みましょう。常に実習生としての自覚ある行動をしてください。 オフィスアワーは、各担当教員の時間帯になります。

【4H6A403】臨床・臨地実習III	歯科衛生学科		3年後期	
	6単位	必修	実習	270時間

教員	水嶋　広美・小原　勝・大林　泰二・海原　康孝・加藤　智樹・松川　千夏・大谷　悦世・今井　藍子・川		
資格・制限等	未修得科目数による制限有り		
実務家教員			
授業方法	学外の各指定の実習施設にて実習する。また、質問等がある場合、Academic Advisorや学生ポータル及びメールで受け付けます。		
到達目標	知識・理解	全身疾患の有無や生活習慣等の情報収集により、患者の問題点を抽出しその解決方法について説明できる。また歯科医院で起こる偶発事故の原因と対処法を述べる。	◎
	技能	患者の安全に配慮した共同動作を実施し、症例に応じた器材を準備し、歯科診療の介助を行う。また、1年間の臨床実習での学びと反省点を報告し、次年度生に臨床実習に関する助言を行い、コミュニケーション能力を身につける。	◎
	関心・意欲・態度	医療人として日常の自己管理ができ、職業的使命感を持つことができる。	○

授業内容	修得した臨床歯科医学を基に、歯科衛生士としてより実践的な知識、技術、態度を身につけられるように各実習施設における実習を行う。実習施設は、歯科医院、総合病院、介護老人福祉施設、特別支援学校等、専修クラスにより異なる。また、登校時に専修クラス別で事前学修及び事後学修を行う。

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
実習日誌・レポート	35	-	-	-	35
実習施設からの評価	-	-	40	-	40
実習報告発表会	-	-	5	-	5
受講態度	-	-	-	20	20
合　計(点)	35	-	45	20	100

評価の特記事項	欠席・遅刻・早退した場合、補充を必ず課します。
ＩＣＴ活用	ポータルサイト等を活用した授業支援を行う。
課題に対するフィードバック	実習日誌・レポート課題をAcademic Advisorに提出し、Academic Advisorがフィードバックを行います。
テキスト	レポートや日誌の作成には、1、2年生時に購入したテキストが必要になります。
参考書・教材	特にありません。

内容

実施回	授業内容・目標
第1週～第8週	第1週～第8週 ・実習施設ガイダンス 各専修クラスのガイダンスを受ける。 ・各専修クラスでは、毎週登校時、事前学修・事後学修を受ける。 [課題（予習・復習）]各専修クラスでの事前・事後学修に関する予習・復習を行う。（8h） ・総合病院専修クラス指定施設にて実習する。 ・専門的口腔ケア専修クラス指定施設にて実習する。 ・審美歯科専修クラス指定歯科施設にて実習する。 ・総合歯科専修クラス指定歯科施設にて実習する。 ［課題（復習）］各専修クラスの課題レポートを行い、各指定施設で学んだ事について復習する。（8h） １年間に亘る臨床・臨地実習で成長した点と自己の課題について発表報告し次年度生に助言する。

時間外での学修	日誌や指示されたレポート作成は、専門性のある記述内容にするため必ず教科書等で確認し、記述内容が知識として修得するようにします。手技・操作で未熟な点は、登校時に積極的に自習して下さい。各実習施設における対象者の把握は、事前、事後にテキスト等で確認しておくようにすること。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：16時間】
受講学生へのメッセージ	臨床・臨地実習Ⅰ・Ⅱに修得できなかった実習項目は、この臨床・臨地実習Ⅲで積極的に修得するようにします。どの実習指定施設でも実習生としての自覚をもち、的確な判断力や行動力が養える努力をしましょう。オフィスアワーは、各クラスのAcademic Advisorの時間帯になります。

【4H6A405】臨床・臨地実習Ⅴ	歯科衛生学科		3年前期	
	1単位	選択必修	実習	45時間

教員	水嶋　広美・今井　藍子・川畠　智子		
資格・制限等	未修得科目数による制限有り		
実務家教員			
授業方法	総合病院の歯科・口腔外科において、口腔外科診療室を中心として見学実習を行う。		
到達目標	知識・理解	1. 有病患者に対する知識を備え、口腔外科の施術方法を列挙しその施術に必要な器具、器材の用途を述べる。 2. 感染予防に対する知識及び対処法や器具の消毒・滅菌方法を理解する。	◎
	関心・意欲・態度	医療人として日常の健康管理に心がけ、主体的な実習を行い自学自習ができる。	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

授業内容	総合病院の歯科・口腔外科における見学実習及び学内実習での課題学修を行う。

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
実習日誌または、課題レポート	30	-	-	-	30
実習施設評価（学外・学内実習	50	-	-	-	50
受講態度	-	-	-	10	10
レポート提出状況	-	-	-	10	10
合　計(点)	80	-	-	20	100

評価の特記事項	欠席・遅刻・早退した場合、必ず補充を課します。
ＩＣＴ活用	
課題に対するフィードバック	事前にレポート課題を提出し、後日各病院実習担当教員よりフィードバックを行う。必ず指導を受けてから実習施設で実習を行う。
テキスト	『顎・口腔粘膜疾患　口腔外科・歯科麻酔』医歯薬出版株式会社(3,740円)ISBN:978-4-263-42823-8 『臨床検査』医歯薬出版株式会社(2,420円)ISBN:978-4-263-42829-0
参考書・教材	必要に応じ、１、2年生で購入したテキストを使用する。

内容	
実施回	授業内容・目標
7回	1.総合病院実習前のオリエンテーションを受ける。 2.総合病院の歯科・口腔外科で5日間の見学実習を行う。 　又は、学内にて面接授業に相当する遠隔授業と課題学修 3.前のグループからの申し送りと実習終了後のフィードバックを行う。 　又は、学内にて面接授業に相当する遠隔授業と課題学修 ［課題（復習）］実習終了後学んだことをまとめるために、日誌を作成する。（5～10h）

時間外での学修	総合病院での見学実習です。実習生として、安全に臨めるように知識・技術の復習を必ず行いましょう。 また、事前に課題レポートを作成し、基礎知識を獲得し実習に臨んでください。 【この科目に求める望ましい授業外での総学修時間：10時間】
受講学生へのメッセージ	学外実習は理由を問わず欠席は認めません。欠席した日数は必ず補います。各自、健康管理には十分気をつけてください。また、実習生という立場をわきまえて謙虚な態度で実習に臨んでください。オフィスアワーは、各病院実習担当教員の時間帯になります。

【4H6A206】卒業研究	歯科衛生学科		3年前期	
	2単位	選択	演習	60時間

教員	海原　康孝		
資格・制限等	特になし		
実務家教員	海原：歯科医師（大学病院勤務）・27年		
授業方法	調査・研究の方法およびそれらの進め方，データの入力や統計解析について学ぶ。研究成果をまとめ、プレゼンテーションを行う方法についても学ぶ。		
到達目標	知識・理解	研究の目的、情報収集、文献検索、テーマ選択と卒業研究に関連する課題について、基本的な知識を理解できる。	◎
	思考・判断・表現	共同研究者とともに系統立てた計画に基づき、調査・研究に挑み、試行錯誤しながら課題の解決にに向け、プレゼンテーションの場において、その成果を表現することができる。	○
	技能	研究データーの処理・分析、その結果を課題解決に結びづけて判断し活用することができる。	○
	関心・意欲・態度	プレゼンテーション用の資料を積極的に学修しながら作成し、発表・質疑応答に取り組むことができる。	○
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

授業内容	歯科衛生士として広い視野を持つためには、常に課題探求能力の養成が求められる。自ら学ぶべき課題に対し、科学的に分析された情報をもとに研究する能力を修得する事を目的とする。 選択したテーマについて、教員の指導のもとに研究計画を立案し、研究を遂行する。成果を卒業研究発表会にてプレゼンテーションするとともに、卒業研究報告書を作成し、専門的な知識や技術等を身につけることを目的とする。

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
報告書作成	40	-	-	-	40
発表（表現）	-	20	-	-	20
発表（技能）	-	-	20	-	20
受講態度	-	-	-	20	20
合　計(点)	40	20	20	20	100

評価の特記事項	
ＩＣＴ活用	
課題に対するフィードバック	研究に必要な能力養成のため，前回までの授業内容のチェックを行う。また、知識が身についているかどうかを確かめるため、授業中に問題演習を行う。
テキスト	なし
参考書・教材	書籍や文献検索にて情報収集を行う。

内容

実施回	授業内容・目標
1	研究テーマについて考える。 ［課題（準備）］卒業研究の目的について理解し、図書館、パソコン等で文献検索を行い、興味ある研究テーマをいくつか選択し、まとめる。(3～5h)
2	研究方法を学ぶ（1） ［課題（準備）］集計や統計解析をする上での基礎的知識について学ぶ。(3～5h)
3	研究方法を学ぶ（2） ［課題（準備）］質問紙調査の作成方法について学ぶ。(2～5h)
4	研究方法を学ぶ（3） ［課題（準備）］調査用紙を作成しデータ収集のための準備をする。(3～6h)
5	研究テーマを基に、研究データの収集を行う。 ［課題（準備）］研究倫理に従い、インフォームド・コンセントのもと調査対象者等に対してデータ収集を実施する。(4h)
6	1回～5回までの課題を確認する。 収集した研究データの整理を行い、まとめる。 ［課題（準備）］データの整理を行い、パソコンにデータの入力を行う。(2～4h)
7	収集した研究データを分析し、まとめる。 ［課題（準備）］入力データに対して、統計学的処理を行い、データ分析を行う。(3～6h)
8	前回に続き、研究データの分析を行い、まとめる。 ［課題（準備）］研究データ分析の結果をもとに、統計処理の方法と解釈について学ぶ。(3h)
9	分析結果の検討および要約 ［課題（準備）］データ分析の結果を、研究目的と照らし合わせながらまとめ、結論を導く。(3～6h)
10	図表の作り方を学ぶ。 ［課題（準備）］図表の作り方の基礎を学ぶ。(3～6h)
11	6回～10回までの課題を確認する。 ［課題（準備）］結果についてグラフや表などの資料作成を行う。(3～6h)
12	プレゼンテーションの作り方について学ぶ。 ［課題（準備）］発表のためのプレゼンテーションおよび発表原稿を作成する。(3～6h)
13	研究報告書の内容を検討し、レポートの作成を行う。 ［課題（準備）］緒言、対象、方法、結果について論文形式で報告書の作成を行う。(3～4h)
14	前回作成したレポートを再度検討し、次回の完成に向けてまとめる。 ［課題（準備）］先行文献と比較検討して考察を行い、結論、参考文献に記載をする。(4h)
15	11回～14回までの課題を確認する。 レポートの内容について重ねて検討し、完成させる。 ［課題（準備）］研究報告書全体を見直し、内容、体裁ともに確認をして完成させる。(3～6h)

時間外での学修	卒業研究の目的は，研究を進める上での基礎的な能力養成です。文献検索や情報収集を行い、集計，統計解析，発表、報告書の作成に至るまでの過程を学修して下さい。わからない点、疑問点があれば、研究室を訪ねてください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：41時間】

受講学生へのメッセージ	将来、広い視野と課題解決能力を持った歯科衛生士となるために、自らが積極的に卒業研究に取り組んでください。また、質問して解決することも必要です。 オフィスアワーは研究室（海原G206：G号館2F）で毎週木曜日の16:20～17:30です。

【4H6A207】歯科総合演習Ⅰ	歯科衛生学科		3年前期	
	1単位	必修	演習	30時間

教員	加藤　智樹・小原　勝・大林　泰二・海原　康孝・松川　千夏・水嶋　広美・今井　藍子・大谷　悦世・川		
資格・制限等	未修得科目数による制限有り		
実務家教員			
授業方法	各科目担当教員が作成した歯科衛生士国家試験に沿った問題等を解き、それを基に必要に応じて質疑応答を加えながら解説を行い、理解が深まるよう進める。		
到達目標	知識・理解	1.これまで学習した口腔保健分野科目に関する内容を復習し、総括する。 2.問題演習などにより、口腔保健分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。 3.問題演習などにより、専門基礎・臨床歯科医学分野科目への理解と応用力を深め、知識を高める。	◎
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

授業内容	歯科衛生士国家試験に関わる科目について、1年、2年時に学んだ事項を復習し総括する。また、問題演習などにより各科目への理解を深め、歯科衛生士国家試験に必要な知識を身につけるよう進める。なお、前期では専任教員全員が担当する科目を中心とした演習を行う。学生からの要望やメッセージがあった場合には、学生ポータルでのメール対応、個人指導など様々な方法の中から最善のものを選んで対応する。

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
筆記試験	100	-	-	-	100
合　計(点)	100	-	-	-	100

評価の特記事項	筆記試験の得点率が６０％以上相当で単位認定とします。
ＩＣＴ活用	
課題に対するフィードバック	授業で提示された課題については、指定された期日に回収し、チェックした上で解説を行う。また、知識が身についているかどうかを確かめるため、授業中に問題演習を行う。
テキスト	『歯科衛生士のための主要3科＋専門分野問題集 第3版』全国歯科衛生士教育協議会編集　一般社団法人口腔保健協会ISBN:978-4-89605-344-9
参考書・教材	各科目で使用したテキストを使用します。必要な資料は適宜配布します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	基礎医学・臨床歯科医学① [課題(復習)]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
2	基礎医学・臨床歯科医学② [課題(復習)]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
3	基礎医学・臨床歯科医学③ [課題(復習)]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
4	基礎医学・臨床歯科医学④ [課題(復習)]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
5	基礎医学・臨床歯科医学⑤ [課題(復習)]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
6	基礎医学・臨床歯科医学⑥ [課題(復習)]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
7	基礎医学・臨床歯科医学⑦ [課題(復習)]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
8	基礎医学・臨床歯科医学⑧ [課題(復習)]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
9	歯科診療補助(1)：臨床検査、保存・口腔外科の治療時についての重要事項を述べる。 [課題(復習)]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
10	歯科診療補助(2):歯科材料の種類と取り扱いについての重要事項を述べる。 [課題(復習)]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
11	歯科診療補助(3)：感染症についての重要事項を述べる。 [課題(復習)]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
12	歯科保健指導(1)：保健指導の基礎についての重要事項を述べる。 [課題(復習)]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
13	歯科保健指導(2)：食事指導法、在宅訪問歯科指導に関する重要事項を述べる。 [課題(復習)]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
14	高齢者歯科学：についての重要事項を述べる。 [課題(復習)]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
15	その他重要事項について述べる。 [課題(復習)]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)

時間外での学修	各授業で学んだ内容はその日のうちに復習し、理解しにくい点や疑問点があれば必ず担当教員に質問し、早期に解決するようにして下さい。また、決められた課題はまじめに取り組み必ず期限までに行い提出して下さい。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】
受講学生へのメッセージ	歯科衛生士国家試験で少しでも得点アップするためには、多くの問題に触れ、それらを繰り返し学修することが必須です。臨床実習と並行して、自ら積極的に毎日学習に取り組む習慣を身につけて下さい。 オフィスアワーは、各科目担当教員の時間帯になります。

【4H6A208】歯科総合演習Ⅱ	歯科衛生学科		3年後期	
	1単位	必修	演習	30時間

教員	加藤　智樹・小原　勝・大林　泰二・海原　康孝・松川　千夏・水嶋　広美・今井　藍子・大谷　悦世・川		
資格・制限等	未修得科目数による制限有り		
実務家教員			
授業方法	各科目担当教員が作成した歯科衛生士国家試験に沿った問題を解き、それを基に質疑応答を加えながら解説を行い、理解が深まるよう進める。		
到達目標	知識・理解	1.口腔保健分野科目においてこれまで学んだ事項を復習し、総括する。 2.問題演習などにより、口腔保健分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。 3.専門基礎・臨床歯科医学分野科目においてこれまで学んだ事項を復習し、総括する。 4.問題演習などにより、専門基礎・臨床歯科医学分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。	◎
	備考	◎･○･△の記号は、DP･到達目標との結びつきの強さを示しています。	

授業内容	歯科衛生士国家試験に関わる科目において1年、2年時に学んだ事項を復習し、総括するとともに、問題演習などによってそれぞれの科目への理解と応用力を深め、歯科衛生士国家試験に対応する知識を身につけるよう進める。 なお、後期においては専任教員および非常勤講師全員で歯科衛生士国家試験に関わる全科目の授業を行う。学生からの要望やメッセージがあった場合には、学生ポータルでのメール対応、個人指導など様々な方法の中から最善のものを選んで対応する。

観点別評価

評価の観点 / 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
筆記試験	100	-	-	-	100
合　計(点)	100	-	-	-	100

評価の特記事項	筆記試験にて得点率６５％以上で単位認定とします。
ＩＣＴ活用	
課題に対するフィードバック	授業で提示された課題については、指定された期日に回収し、チェックした上で解説を行う。また、知識が身についているかどうかを確かめるため、授業中に問題演習を行う。
テキスト	『徹底分析！年度別　歯科衛生士国家試験問題集　2021年度版』歯科衛生士国試問題研究会編　医歯薬出版(4,070円)ISBN:978-4-263-42091-1 『歯科衛生士のための主要3科+専門分野問題集　第3版』全国歯科衛生士教育協議会編　一般社団法人口腔保健協会(3,240円)ISBN:978-4-89605-344-9
参考書・教材	1年、2年時において学んだ歯科衛生士国家試験に関わる全ての科目の歯科衛生士教本。 必要な資料は適宜配付します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	解剖学、口腔外科・歯科麻酔学、生化学、細菌学についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
2	小児歯科学、矯正歯科学、障がい者歯科学、歯科放射線学についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
3	生理学、口腔生理学についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる 。(1h)
4	微生物学についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
5	薬理学についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
6	口腔衛生学についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
7	衛生学・公衆衛生学、衛生行政社会福祉学についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
8	歯科予防処置(1)：歯周病学、予防的歯石除去についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
9	歯科予防処置(2)：う蝕予防処置などについての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
10	歯科臨床概論、保存修復学、歯内療法学、歯周病学、歯科補綴学、病理学についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
11	歯科診療補助(1)：歯科衛生士概論、臨床検査、保存・口腔外科の治療時についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
12	歯科診療補助(2)：歯科材料の種類と取り扱いについての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
13	歯科診療補助(3)：感染症についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
14	歯科保健指導(1)：保健指導の基礎についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
15	歯科保健指導(2)：栄養学、高齢者歯科学、についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)

時間外での学修	各授業で学んだ事項はその日のうちに復習し、理解しにくい点や疑問点がある場合はオフィスアワー等を活用して担当教員を尋ね、早期に解決しましょう。夏期休暇直前に全員が購入する問題集（2冊）を夏期休暇中に自学自習し終えるようにしてください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】

受講学生へのメッセージ	国家試験に合格するために『テキスト』の項目に挙げた2冊の問題集を、夏季休暇中に計画を立て学修して下さい。問題に触れることでより理解力するようにしてください。 オフィスアワーは、各科目の先生方の時間になります。

【4H6A209】歯科医学特講	歯科衛生学科		3年後期	
	1単位	選択	演習	30時間

教員	加藤　智樹・小原　勝・大林　泰二・海原　康孝・水嶋　広美・今井　藍子・大谷　悦世・藤塚　未子		
資格・制限等	特になし		
実務家教員			
授業方法	各科目担当教員が作成した歯科衛生士国家試験に沿った問題を解き、それを基に質疑応答を加えながら解説を行い、理解が深まるよう進める。		
到達目標	知識・理解	1.歯科医学分野科目においてこれまで学んだ事項を復習し総括する。 2.問題演習などにより、歯科医学分野科目への理解と応用力を深め、歯科医学に関する知識を高める。	◎
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。	

授業内容	歯科衛生士国家試験に関わる歯科医学関連科目において1年、2年時に学んだ事項を復習し、総括するとともに、問題演習などによってそれぞれの科目への理解と応用力を深め、歯科衛生士国家試験に対応する知識をアクティブ・ラーニングを活用して身につけるよう進める。学生からの要望やメッセージがあった場合には、学生ポータルでのメール対応、個人指導など様々な方法の中から最善のものを選んで対応する。

観点別評価

評価方法＼評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
課題プリント	100	-	-	-	100
合　計(点)	100	-	-	-	100

評価の特記事項	
ＩＣＴ活用	
課題に対するフィードバック	授業で提示された課題については、指定された期日に回収し、チェックした上で解説を行う。また、知識が身についているかどうかを確かめるため、授業中に問題演習を行う。
テキスト	『歯科衛生士のための主要3科＋専門分野問題集　第3版　』全国歯科衛生士教育協議会　一般社団法人口腔保健協会(3,300円)ISBN:ISBN:978-4-89605-344-9
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
2	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
3	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]　問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
4	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
5	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
6	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
7	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
8	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
9	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
10	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
11	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
12	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
13	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
14	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。 [課題（復習）]問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)
15	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。1－15回目までの課題の確認テストを実施。 [課題（復習）]問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)

時間外での学修	各授業で学んだ事項はその日のうちに復習し、理解しにくい点や疑問点がある場合はオフィスアワー等を活用して担当教員を尋ね、早期に解決しましょう。全員が購入する問題集に取組み、繰り返し復習してください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】
受講学生へのメッセージ	国家試験に合格するために『テキスト』の項目に挙げた問題集について計画を立て学修して下さい。問題に触れることでより理解力するようにしてください。 オフィスアワーは、各科目の先生方の時間になります。